

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	高炉スラグ細骨材指針改定小委員会	主 査 名：阿部 道彦 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：本橋 健司 主 査 名：阿部 道彦
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	「高炉スラグ細骨材を用いるコンクリート施工指針(案)・同解説」は1983年に制定された。しかしながら、その後の使用材料の品質の変化やJASS 5および関連規準類の規定の変更に対応しておらず、各界から見直しの要望が出されていた。改定にあたっては、高炉スラグ細骨材指針改定WG(2009年10月～2012年3月)の成果を基に、「高炉スラグ細骨材を用いるコンクリート調合設計・施工指針・同解説」として、改定版を刊行する。特に、高強度コンクリートの項を新設するとともに、関連する新たな知見を盛り込むことを予定している。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無 阿部道彦(工学院大学)、榊田佳寛(宇都宮大学)、千歩修(北海道大学)、今本啓一(東京理科大学)、真野孝次(建材試験センター)、鹿毛忠継(建築研究所)、一瀬賢一(大林組)、浅野研一(八洋コンサルタント)、加村久哉(鉄鋼スラグ協会)、奥村博昭(鉄鋼スラグ協会)、檀康弘(鉄鋼スラグ協会)、紙田晋(鉄鋼スラグ協会)、山中量一(鉄鋼スラグ協会)、高林佳孝(鉄鋼スラグ協会)、石東昇(宇都宮大学)、竹田重三(鉄鋼スラグ協会)、佐野雅三(埼玉太平洋生コン)、二村誠二(大阪工大) : WGの委員を含む	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

竹田重三(鉄鋼)

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 高炉スラグ細骨材を用いるコンクリートの調合設計・施工指針・同解説
講習会	1. 「高炉スラグ細骨材を用いるコンクリートの調合設計・施工指針・同解説」改定講習会 参加者数 129 名(東京)、75 名(大阪)
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の予定どおり、約 10 ヶ月(2009 年度から実施した WG を含めると約 3 年半)で指針の改定作業を終了した。 2. 当初の予定どおり、2013 年 2 月に 2013 年版指針を刊行した。 3. 2 月 15 日(東京)、20 日(大阪)にて改定講習会を実施した。
委員会活動の問題点・課題	